

(様式第8号)



平成29年度 函館市市民協働モデル事業実績報告書

平成29年10月30日

函 館 市 長 様

補助事業者等	住 所	函館市石川町311-16
	団体名および	函館市女性会議
	代表者名	会長 佐々木 香

補助事業等の名称 「災害を乗り越える知恵と力をつける女性防災講座」

平成29年8月29日付け函総務をもって補助金等の交付決定を受けた上記の補助事業等は、平成29年9月30日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 225,000円

補助金等領収済額 金 225,000円

補助金等領収未済額 金 0円

## 市民協働モデル事業の実績書

事業の名称	災害を乗り越える知恵と力をつける 女性防災講座
団体名	函館市女性会議
総事業費	450,000円 (うち自己資金 22,000円)
事業の内容(対象者, 実施方法等)	<p>女性(女性に限らず, 一般参加を募る)を対象とし, 年間3回防災に関する講座を開催し, 防災に関するリーダーを養成することができた。</p> <p>第1回目(災害時のトイレ対策について)  日 時:平成29年7月1日(土) 13:30~16:00  場 所:函館市中央図書館視聴覚ホール  講 師:NPO法人日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤  ※当日, 海霧で空路が乱れ, 講師が到着できず急遽中止</p> <p>第2回目(命をつなぐ子どもと大人の防災術について)  日 時:平成29年7月8日(土) 13:30~16:00  場 所:函館市中央図書館視聴覚ホール  講 師:アウトドア流防災ガイド あんどურიす  「子育てグッズ」を「防災グッズ」とイコールにしてしまうコソを  惜しみなく伝授。聞いたらすぐに備えたいくなる。聞いたらすぐに実践できる。お子さまのいるご家庭必聴の他では聞けない防災講座。  参加者 33名, 参加費:500円(資料代)</p> <p>第3回目(HUGおよび講演会を実施)  &lt;午前&gt;  日 時:平成29年8月26日(土) 10:00~12:00  場 所:サン・リフレ函館大会議室  講 師:北海道国際交流センター 事務局長 池田 誠  避難所運営ゲーム(HUG)の概要説明等  参加者 36名, 参加費:500円(資料代)  &lt;午後&gt;  日 時:平成29年8月26日(土) 13:30~16:00  場 所:サン・リフレ函館大会議室  講 師:早稲田大学招聘研究員 浅野 幸子  (東日本大震災女性ネットワーク研修プロジェクトコーディネーター)  避難生活での関連死予防や女性・子どもの安全を守るために  東日本大震災・熊本地震等の教訓に学ぶこれからの防災対策について  参加者 37名, 参加費:500円(資料代)</p> <p>全講座を履修した方には, 修了証を授与した。(12名)</p>

## 市民協働モデル事業実施による効果等調査

事業の公益性・課題の改善	<p>近年全国で様々な災害が発生しており、今年に入って函館でも地震、台風等の災害による被害が発生している。被害を最小限にとどめるためには、防災知識の普及・啓発が不可欠で、平成26年6月の函館市地域防災計画の改正でも、男女共同参画その他の多様な視点を取り入れた防災体制の確立による地域防災力向上がうたわれ、市でも取り組みを始めたところだが、今回の市民協働モデル事業を実施したことにより、多くの女性を対象とし、男女共同参画の視点を取り入れた講座を実施し、函館市の地域防災力の向上に寄与した。</p>
事業の効果・成果	<p>市が行っている出前講座などの一般的な防災教育では対応しきれない性差による災害への備え、被災時および被災後の対応等について、当会議の今までの経験を踏まえ講座を企画したことから、被災時に弱者となり得る女性の防災力向上が図られた。</p>
事業の具体性・実現性	<p>平成29年度の事業では、災害時だけではなく、毎日の子育てに役立つ情報や臨機応変力を身につける実践的な防災セミナーや東日本大震災・熊本地震等の教訓に学んだ避難生活での女性・子どもの安全を守るための講座を開催するなど女性の視点を多く取り入れた講座を開催しており、今後、同事業を3年間実施する予定としており、本事業終了時に参加者の中から「函館女性防災ネットワーク」を立ち上げ、活動を継続する予定。</p>
協働の役割分担の明確化・相乗効果	<p>本事業では、これまで当会議が行ってきた防災学習会などの講演会実施の経験を活かした講座の企画・運営を行い、函館市総務部総務課防災担当が町会等との関係を活かした広報を担当し、市民・各団体へ広く周知等を行った。</p>
先進性・アイデア性	<p>函館市女性会議が、従来から実施していた防災学習会は、講演会を中心として実施(昨年度は初めてワークショップを実施)したが、それを拡大発展させたものを開催することができ、被災して初めて実感することとなる「災害時のトイレ事情」、地域の希望の星である子供を守るための「子育て防災講座」、「避難所開設運営図上訓練」においても、町会組織だけではなくより若い世代の参加を図ることができたことから、当会議の特色を活かした、男女共同参画の視点から男性にも女性にも身になる、今までの函館ではなかったひと味違う講座の実施ができた。</p>
費用の妥当性・経費節減	<p>運営については、当会議の会員が手分けし、また、広報についても市の防災担当の手を借りて行うこととして費用の節減を図った。会場については公共施設を利用して使用料及び賃借料の軽減を図った。講師の旅費についても、パック商品を利用してもらうなど、当初の予定より低く抑えることができた。</p>

## 市民協働モデル事業の収支決算の内訳

(単位:円)

項 目	決 算 額	内 訳	補助対象経費	項目小計
報償費	110,000	【謝礼金】 110,000円 〈内訳〉 第2回講座 50,000円 第3回講座(午前) 10,000円 第3回講座(午後) 50,000円	110,000	110,000
旅 費	183,470	【旅費】 183,470円 〈内訳〉 第1回講座(東京) 67,680円 第2回講座(東京) 59,900円 第3回講座午後(東京) 55,890円	183,470	183,470
需用費	65,376	【チラシ等印刷製本費】 @6円×5,000枚×1.08=32,400円 【看板・横断幕制作費】 @11,232+@5,300=16,532円 【消耗品費(用紙代等)】 一式 16,444円	65,376	65,376
役務費	69,834	【郵送料(ハガキ・切手代)】 @62円×140枚=8,680円 【郵送料(郵便料)】 一式 1,154円 【スタッフ交通費(役員・理事12名)】 (打合せ・準備7回, 講座当日3回) @500円×12名×10回=60,000円	69,834	69,834
使用料及び 賃借料	21,320	【会場使用料】 第3回(午前・午後) 4,240円 【会場電源等設備使用料】 第3回一式 13,560円 【会場駐車場使用料】 3,200円 〈内訳〉 第1回 @500×2台=1,000円 第3回 @1,100×2台=2,200円 【コピー機使用料】 @9円×33枚×1.08=320円	21,320	21,320
合 計	450,000		450,000	450,000

## 市民協働モデル事業の収支決算書

## 【収入の部】

(単位:円)

項目	本年度 当初予算額(C)		本年度 変更後予算額(D)		本年度 決算額(E)		増 減 (E) - (D)		内 訳
		うち補助 対象経費		うち補助 対象経費		うち補助 対象経費		うち補助 対象経費	
函館市	258,000	258,000	225,000	225,000	225,000	225,000	0	0	
自己資金	108,000	108,000	100,000	100,000	22,000	22,000	△78,000	△78,000	
協賛金	50,000	50,000	50,000	50,000	150,000	150,000	100,000	100,000	
参加費	100,000	100,000	75,000	75,000	53,000	53,000	△22,000	△22,000	7月8日 33名 8月26日午前 36名 8月26日午後 37名 合計 106名×@500
合計(A)	516,000	516,000	450,000	450,000	450,000	450,000	0	0	

## 【支出の部】

(単位:円)

項目	本年度 当初予算額(C')		本年度 変更後予算額(D')		本年度 決算額(E')		増 減 (E') - (D')		内 訳
		うち補助 対象経費		うち補助 対象経費		うち補助 対象経費		うち補助 対象経費	
報償費	160,000	160,000	110,000	110,000	110,000	110,000	0	0	別表に記載
旅 費	205,000	205,000	204,000	204,000	183,470	183,470	20,530	20,530	
需用費	58,000	58,000	51,000	51,000	65,376	65,376	△14,376	△14,376	
役務費	56,000	56,000	56,000	56,000	69,834	69,834	△13,834	△13,834	
使用料 及び 賃借料	37,000	37,000	29,000	29,000	21,320	21,320	7,680	7,680	
合計(B)	516,000	516,000	450,000	450,000	450,000	450,000	0	0	

※ 収支差額(A) - (B) 〇 円

(注) 1 収入の内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。

2 支出の内訳は、様式第10号別表に金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。